

国際シンポジウム「The Future of Civil Service」開催概要

【開催概要】

日 時：令和5年9月27日（水）13：30～17：45

会 場：第一ホテル東京（東京都港区新橋1丁目2番6号）

参加国：日本（人事院）、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、中国、韓国、オーストラリア（14か国）

【シンポジウムの進行】

1. 開会	柴崎澄哉 人事院事務総長 カオ・キムホン ASEAN事務総長 (ビデオメッセージ)
2. 日本の基調講演	米村猛 人事院総括審議官 『公務の未来～職員一人一人が躍動でき、Well-beingが実現される公務を目指して～』
3. 参加国のプレゼンテーション	【発表国】 ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、オーストラリア
4. 意見交換・総括	【モデレーター】 川村晃一 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター次長
5. 閉会	

【ACCSM+3について】

- ACCSM (ASEAN Cooperation on Civil Service Matters: ASEAN公務協力会議) は、ASEAN加盟国の中央人事行政機関をメンバーとする会合。公務員制度・公務員人事管理に関する地域間協力の拡大を目的に1981年から活動
- 2008年からACCSMの会合に日中韓3か国が招待。2010年の「ルアン・パバン宣言」でASEAN+3での公務に関する協力推進を合意
- 現在は「ACCSM+3事業計画 2021-2025」に基づき、人事管理・人材育成分野を始めとした7つの分野において各国の提案によるプロジェクトを実施